

福山市教育委員会会議（第1回）議事日程

2023年（令和5年）4月19日  
午後2時00分 於：教育委員室

|        |      |  |   |
|--------|------|--|---|
| 日程第1   |      | 教育委員会会議録の承認について                        |   |
| 日程第2   |      | 教育長報告                                  | 1 |
| 日程第3   | 協議事項 | 「Rose&Peace教育」の推進について                  | 2 |
| * 日程第4 | 議第1号 | 福山市図書館協議会委員の解任及び任命について                 |   |
| * 日程第5 | 議第2号 | 臨時代理の承認を求めることについて（福山市教育支援委員会委員の解嘱及び委嘱） |   |
| * 日程第6 | 議第3号 | 福山市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の解嘱及び委嘱について       |   |
| * 日程第7 | 協議事項 | 再編後の学校に係るアンケート調査結果について                 |   |
| * 日程第8 | 議第4号 | 臨時代理の承認を求めることについて（教職員の人事）              |   |

\*は非公開予定

教育長報告

|    |     |   |  |
|----|-----|---|--|
| 3月 | 25日 | 土 |  |
|    | 26日 | 日 |  |
|    | 27日 | 月 |  |
|    | 28日 | 火 |  |
|    | 29日 | 水 |  |
|    | 30日 | 木 | 新任転入管理職研修<br>校長・園長会議                               |
|    | 31日 | 金 | 辞令交付式  |
| 4月 | 1日  | 土 |  |
|    | 2日  | 日 |  |
|    | 3日  | 月 | 辞令交付式  |
|    | 4日  | 火 | 学校訪問（東小）   |
|    | 5日  | 水 | 福山市立福山高等学校寄宿舎落成式<br>学校視察（叡智学園）                     |
|    | 6日  | 木 | 学校訪問（駅家南中，加茂中，竹尋小，坪生小，東朋中，鳳中）                      |
|    | 7日  | 金 | 市立学校入学式（福山中，精華中）                                   |
|    | 8日  | 土 |  |
|    | 9日  | 日 |  |
|    | 10日 | 月 |  |
|    | 11日 | 火 | 小学校長研修（人権交流センター）                                   |
|    | 12日 | 水 | 学校訪問（手城小，川口小，新涯小，誠之中，箕島小，南小）<br>中学校長研修（まなびの館ローズコム） |
|    | 13日 | 木 | 全国都市教育長協議会第1回常任理事会（東京都）                            |
|    | 14日 | 金 | 学校訪問（曙小，曙幼，光小，常石ともに学園，鞆の浦学園）                       |
|    | 15日 | 土 | 開校式（加茂小，加茂中）                                       |
|    | 16日 | 日 |  |
|    | 17日 | 月 | 学校訪問（多治米小，川口東小，引野小，樹徳小，西小，霞小）                      |
|    | 18日 | 火 |  |
|    | 19日 | 水 | 第1回教育委員会会議   |

## 「Rose & Peace 教育」の推進(案)

2023年(令和5年)4月10日

福山市教育委員会

### 1 意義

世界バラ会議は、50年の歴史を持ち、世界40か国が加盟する世界バラ会連合(The World Federation of Rose Societies)が開く国際大会である。3年に1度、ばらの歴史が長い国・都市で開催されている。

ばらの研究者、生産者、愛好家、芸術家など、世界のばら関係者600~700人が一堂に会し、ばらの講義や庭園ツアー、優秀庭園賞の決定、ばらの審査などを行い、交流を深める。これらの内容は、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことなどを定める教育基本法の「教育の目標」や学習指導要領の趣旨に通じるものである。

この世界バラ会議、第20回となる節目の大会が、2025年(令和7年)に福山市で開催されることが決定した。アジアでの開催は、2006年の大阪大会(第14回)に次いで、2都市目となる。

戦後、「荒廃したまちにうるおいを与え、人々の心にやすらぎを取り戻そう」を合言葉に、平和の象徴として、南公園(現在のばら公園)にばらの苗1000本を植えたことからスタートし、60年以上に及ぶばらのまちづくりやローズ・マインドを大切に育ててきた取組が、世界に認められた証である。

「世界バラ会議 福山大会」を、児童・生徒にとって、またとない学びの場・機会と捉え、福山100NEN教育における「大好き!福山~ふるさと学習~」の一環として、全ての市立学校で「Rose & Peace 教育」を展開する。「ばら」を素材に友達や地域の方と協働したり、世界の人々と触れ合ったりするなど、各学校の創意工夫による取組を通して、国際的視野を持って世界の平和と人類の発展に寄与する態度を育み、個人と社会のウェルビーイング(※)の実現を目指す。

### 2 育成すべき人間像

- (1) 福山に愛着を持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる人
- (2) 自然に親しみ、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然愛護に努める人
- (3) 日本人としての自覚と誇りを持ち、自主的に考え、判断し、誠実に実行できる国際感覚を備えた人
- (4) 多様性を尊重し、国際社会の平和と人類の発展に貢献できる人

### 3 基本的視点

各校において教育活動を進めるに当たり、次の3点を重視する。

- (1) すべての児童・生徒が世界バラ会議に関わる。
  - ・ 発達段階や興味・関心に応じて、世界バラ会議 福山大会に何らかの形で関わり、それらを通して会議の価値や意義を学ぶ。
- (2) 計画的・継続的に展開する。
  - ・ 「世界バラ会議 福山大会」と、更にその先を見据え、計画的・継続的に教育を展開していく。

---

(※) 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む。国際的には、自尊感情や自己効力感がウェルビーイングの重要な要素とされており、加えて、日本においては、人とのつながりや思いやりなど、協調的な幸福感がウェルビーイングにとって重要な意味を有している。これからの日本の教育においては、自己肯定感・自己表現などの「獲得的な要素」と、人とのつながりや利他性などの「協調的な要素」を一体的に取り入れ、日本社会に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングの向上が求められる。

- (3) ウェルビーイングの実現に向け、人とのつながり、社会貢献などを通じて学ぶことを重視する。
- ・ 地域や企業、世界各国からのバラ会議参加者等、多様な人々とともに学びを進めていくことで、子どもたちだけでなく、子どもを取り巻く人、場や地域、社会が幸せを感じられる学習を進める。

#### 4 期間

本教育を実施する期間は、2023年度（令和5年度）から2025年度（令和7年度）の3年間とする。

なお、本教育に係る取組は、2025年度（令和7年度）末をもって終了させるものではなく、引き続き、発展させながら、継続する。

#### 5 重点的に育成すべき4つの資質

- (1) ローズ・マインド（思いやり・優しさ・助け合いの心）
- ・ 共生社会の構成員となる子どもたちにとって、ローズ・マインドの醸成は、不可欠な要素である。また、こうした心を持って、世界から福山市を訪れた方に接することにより、自尊感情を高めることにもつながる。
- (2) 自然愛護の精神
- ・ 自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする態度は、環境破壊が地球規模で進んでいく中で、持続可能な社会の実現に向け、特に身に付けていく必要がある。世界各地におけるばらの歴史を知ることやばらの栽培などを通して、環境を守るためにできることは何かを考え、取り組んでいく実践力にもつなげる。
- (3) 日本人としての自覚と誇り
- ・ 世界から福山市を訪れた方と交流し、異文化を尊重しつつ、積極的にコミュニケーションをとれるようにするためには、まず、子どもたち自身が福山や日本の良さを理解することが重要である。併せて、公正・公平な態度や公共の精神などを身に付け、日本人としての自覚と誇りを持てるような教育を進める。
- (4) 豊かな国際感覚
- ・ 世界バラ会議では、福山に世界中から多様な人々が集まり、外国語で交流する機会も増える。相手の意図・考え方を的確に理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。更には、世界の多様性を受け入れる力を身に付け、世界の中の日本人として、世界の平和と人類を大切にす態度を育む教育を進める。

#### 6 学習・教育活動の進め方

- (1) 各学校の特色に基づき、本教育をカリキュラム・マップに位置付け、学校全体で組織的・計画的に実践する。
- (2) これまでの各学校における様々な教育実践を踏まえ、世界バラ会議に関連付けて行うことを基本とする。
- (3) 世界バラ会議は、教材の宝庫であるため、特定の教科等に偏ることなく、全教育活動で展開する。
- (4) 本教育活動には、保護者や地域住民等の参加を促す取組を積極的に取り入れる。
- (5) 国際理解教育や国際交流を進める際には、学校の特色や地域の特性を踏まえ、伝統芸能・文化の学習や地元の史跡・郷土資料館等の活用を通じて、その魅力を自ら発信できるような取組に努める。

#### 7 「Rose & Peace 教育」の推進を支えるために市教委が実施する取組

- (1) 「大好き!福山～ふるさと学習～」副読本の充実（世界バラ会議に係る情報を随時更新）
- (2) ばら花壇整備、ばら栽培の支援
- (3) 初任者等に向けた「大好き!福山～ふるさと学習～」の意義・目的・進め方等の研修
- (4) 各種研修における各校実践事例の報告・交流